

第12回ITER機構職員募集の説明会(エクサンプロヴァンス)でのQ&A

1. 日時・場所

平成20年9月25日(木)10:00~11:30、16:00~17:30 他
ホテル・セント=クリストファー 1階 カフェ

2. 参加者:5名

3. 説明内容

- 1) ITER計画の概況
- 2) ITER機構職員公募の状況
- 3) ITER機構職員公募の面接試験について(面接試験の模擬ビデオを用いて)
北澤真一 ITER計画管理グループ

4. 説明会でのQ&A

Q1: 面接はどこで受けるのか?

A1: 面接はネット環境と機材があればどこでも受けられる。カダラッシュ・サイトで、ビデオ面接を受けることも可能である。

Q2: 英語よりもフランス語の方が得意なのだが、それでも構わないか?

A2: ITER機構での仕事は、英語で行うことが原則。フランス語は出来なくても構わないが、英語が出来ないと業務に支障をきたす。

Q3: 出願書類の語学能力部分の判断基準はどのようになっているか?

A3: 全て自己申告である。例えばしばらく英語は使っていないからと言って低めの評価とするよりは、業務に就いて直ぐに十分適応できるなら最上級の評価をしても構わないと考えられる。

Q4: 支援職員の子供でもITERの国際学校に入れるのか?

A4: ITER機構の直接雇用であれば、部長級・専門職・技術支援職に係わらず利用できる。

Q5: ITER機構の勤務時間と送迎バスは、現在どうなっているか?

A5: ITER機構は、現在はCEAの内部にありCEAの送迎バスで出勤することができる。この近く(ロトンドの噴水)を7:13頃に出発するバスで出勤し、職場を16時過ぎに出発し17時頃に戻ってくるバスと、18時過ぎに19時頃に戻ってくるバスを用いている人が多い。ただし、ITERが自分のサイトに移ってからのバスについては分からない。

Q6: ITER機構が他の国際機関と異なり、募集職員の条件がかなり個別化しているが、それには理由があるのか?

A6: 支援職員に関しては、特定のポジションの適任者を想定して公募を行っていることがある可能性が高いこともある。しかし、ITER機構は、業務の内容がかなり限定されている機関なので、採用条件も特化される傾向にある。

Q7: ITER機構には、コネがないと採用されないと聞いたが本当か?

A7: JADAでは、そのような事実は把握していない。

Q8: ITER計画に伴い、ITER機構職員以外にも、現地に住む日本人の雇用機会が生じるのか？

A8: ITER計画では、日本国は重要な役割を果たしていかなければならないので、ITERサイトで長期に作業する日本人が増加する可能性はある。しかし、日本人の現地採用の有無は分からない。

以上